

平成29年5月26日

まちづくり活動提案書

（ 地域“魅力”アップ部門 ・ “はじめの一步”部門 ）

※助成を受けようとする部門を○で囲んで下さい

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

団 体 名	なごや寺町まちづくり協議会		
提 案 名	どんぐり広場再生計画		
提案活動を行う地域	名古屋市中区橋1丁目1702番 下日置どんぐり広場		
提案の背景	かつては子供たちであふれていた「どんぐり広場」だが、高齢化が進み子供が減少している現在、近隣住民では草ぬきや剪定、落ち葉の掃除などが現実的に不可能になってきており、その管理が町内の大きな負担になっている。		
提案活動の目的・目標	<p>■目的 地域資源の再利用によるコミュニティ構築</p> <p>■目標 使われていない「どんぐり広場」をリノベーションして子供だけでなく付き添う大人や近隣住民も憩える緑豊かな都会の中の森にする。</p> <p>■成果 緑地化による環境へ好影響及び住民自らが考え作り上げ管理することによる絆の深まり、健康への貢献、喜びの創出、自然への意識の向上。</p>		
提案の内容	<p>平成28年度に作成した「下日置どんぐり広場」の整備計画及び維持計画のマスタープランをもとに、地域住民と共にどんぐり広場の整備を実際に行う。</p> <p>「どんぐり広場」を地域住民の集える森とするために、下記を実施する。</p> <p>①マスタープランから得られた地域住民のニーズにあった公園内設備の調査・研究</p> <p>②公園内設備の大学との共同制作</p> <p>③公園内設備の設置と発表会の実施</p>		
活動期間	平成29年7月～平成29年3月	助成金交付申請額	240千円

## 2 提案内容の視点

以下の視点で提案内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域に根ざしたまちづくり活動内容か</li><li>・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か</li><li>・地域との連携や協力が得られる活動か</li><li>・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か</li><li>・工事を伴う活動の場合、公益性、公共性のあるものか</li></ul>
<p><b>(提案活動の必要性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</b> ※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。 明確な使用用途がないために、地域での管理が難しい状況にある「どんぐり広場」を再生すべく、昨年度は子供たちに自分であればどのような広場にしたいのか、橘小学校と松原小学校の協力を得て、子供たちの夢あふれる「どんぐり広場再生計画」を募集した。80を超えるプランの中から、名古屋造形大学と協働し、どんぐり広場再生計画マスタープランを作成した。夢から現実へ、想像から現実へ形を変えるために、本年度はマスタープランから、さらに一歩進めた再生計画を進めることで、地域への「どんぐり広場」への愛着を深め、地域での維持管理の実現へむけ、当整備計画が必要であると考えます。</p>	
審査基準② 独創性	<ul style="list-style-type: none"><li>・創意工夫にあふれた活動か</li><li>・地域性を活かした個性豊かな活動か</li><li>・新しい視点やアイデアがあるか</li></ul>
<p><b>(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</b> 空間のリノベーションが必要であることは、前年度の活動から明確になった。そこで、本年度は、昨年度作成した「どんぐり広場再生計画」マスタープランから、実現可能かつ、本来の「どんぐり広場」の目的である「子供」のための公園整備をする必要性がある。これらは、昨年度の活動から得られた情報をもとに、建築家を含めた大学との協働し、整備をすることで、当協議会により実現ができると考える。子供が遊びに、そして集える空間リノベーションが最適であると考えます。</p>	
審査基準③ 実現性	<ul style="list-style-type: none"><li>・提案内容が具体的になっているか</li><li>・自己資金を含め、活動内容や資金計画などは妥当か</li><li>・場所や人員、規模などは妥当か</li></ul>
<p><b>(提案活動の実現性について上記観点から分かりやすくご記入ください。)</b> 現在、当協議会が下日置町内会からの委託を得て、どんぐり広場の定期清掃と、たちばな大木戸ひなた市の開催会場として、管理運営をさせていただいている。そのため、地域住民への告知や協働への依頼は、他に比べ用意であると考えます。また、昨年度からの継続事業として、事業を実施することで、「下日置どんぐり広場」に関わる橘学区・松原学区については、多大なる協力を得られている。また、建築家を含めたマスタープランを作成した経緯から、建築家と協力し、整備を進めることで、適切な予算は計画を進めることができる。</p>	

<b>審査基準④</b> <b>発展性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか</li> <li>・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか</li> <li>・工事を伴う活動の場合、成果物はまちづくりにどのように活かされるか</li> </ul>
<b>(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「下日置どんぐり広場」の整備を、子供が立案したプランから整備を進めることで、地域住民自身が参加する機会が増え、どんぐり広場への愛着を深め、現在困難になっている維持管理について、積極的に参加していただく契機とすることができる。</li> <li>・どんぐり広場は、名古屋市内に400を超える数があり、各地域での問題点は、管理する住民の高齢化や管理してくれる人不足がある。当整備計画は、地域の小学校と連動し、行っている。これは、どの地域でも当てはまり、名古屋市内の問題を抱えたどんぐり広場の新たな管理手法となり得る。また、この整備計画を通した新しいコミュニティの形成につながると考える。</li> </ul>	
<b>審査基準⑤</b> <b>活動実績</b> <b>と主体性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか</li> <li>・具体的にどんな熱意を注いでいるか</li> <li>・工事を伴う活動の場合、自ら主体となって工事をを行い、継続的に維持管理する能力があるか</li> </ul>
<p>※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。          ※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。          この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。</p>	
<b>(団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なごや寺町まちづくり協議会」は毎月28日に同時開催されている「東別院手づくり朝市」「西別院Oneコイン朝市」「たちばな大木戸ひなた市」の3か所の朝市と地域との連絡協議会の役割を担う団体として2013年11月より活動をしている。2017年度からは、門前町との協働から、「門前町クラフト市」をスタートした。また、年に1回春には、全てのエリアを包括したイベント「なごや寺町てづくり縁市」を開催し、2017年には、7つの事業を同時開催している。</li> <li>・地域の僧侶、商店主、大学教授などが会員として活動しており、PTAや消防団などの地域活動に従事している会員が多いので地域より好感をもって迎えられている。</li> <li>・地域資源の再発見、再利用による地域振興に力を注いで活動しており、現在、橘大木戸再生、本町通町屋保存、日置神社振興、本町通を中心としたアートイベントの実施に向け活動している。その一環として今回の提案を実施したい。</li> </ul>	

3 提案活動にあたり他団体、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等と取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
下日置町内会	下日置どんぐり広場の使用許可済み(2016以降継続)
名古屋市役所	どんぐり広場の使用許可済み(2017年3月以降)

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。